

現業評議会

現業評議会は、県内の現業職場ではたらく職員のかたい団結体です。住民のいのち・暮らし・権利享受を担う現業職の重要な役割に確信を持ちながら、賃金・労働条件の向上にとりくんでいます。

自治体リストラとたたかい、住民サービスの向上をめざす現業職員のみなさん、現業評議会に参加して元気な活動を進めていきましょう。

現業職場では退職者の不補充、賃金の引き下げや民間委託が続いています。国からの現業労働者の存在自体を否定する攻撃の中で、「公共サービスとは何か」「公務とは何か」をつき詰めることで、私たちは現業労働者の存在価値に確信を深め、住民の理解を広げてきました。

住民の暮らし擁護と現業職員の要求実現は一体のもの

「住民サービス」は利潤の追求ではなく、住民が安心・安全に生きていくために行政が責任を持って実施しなければいけないものです。

自治体リストラを進める政府に対して、住民の暮らし守れ！ 現業を新規採用で増やせ！ 賃金・労働条件の改善を！ などを掲げて全国の仲間と署名や集会に力強くとりくんでいます。



全国の仲間と政府に署名提出

自治体当局に現業の大切さを伝えよう

コストを優先した現業職場の縮小・委託化は、結局は多くの低賃金・不安定雇用労働者（＝住民）を増やし、自治体にとって大事な、災害等への迅速な対応力を失わせます。

大震災でも、埼玉県北の竜巻・積雪被害でも自治体現業の活躍が光っていました。県内現業労働者は連絡をとりあって運動を進めましょう。

県内の各現業労働組合のとりくみを交流し活かそう

草加市では1984年に「草加・子どもの健康と学校給食を考える会」を発足させ、父母、教師、調理師、栄養士、農業者が集まり、学校給食をもっと良くしたいと調理実習や学習



市民参加のパンフ『ひろがれおいしいにおい』

会などを開催。市の協力も得て「ひろがれおいしいにおい」のパンフレットを26年間発行し続けています。地元農家や市内商店から食材を購入する自校給食で、地域経済にも貢献する実績を積み上げてきました。

こうしたとりくみは、「給食まつり」「リサイクルフェア」「ゴミスクール」「保育まつり」など、様々な企画で進められています。